

# 看護学研究科教授会議事録 (11月9日定例)

開催場所	302講義室	開催日時	平成23年11月9日(水) 15:41~17:45
出席者	出席25名/25名 (教授) 安齋, 伊藤, 遠藤, 小野, 荻部, 桑名, 佐々木, 塩野, 関戸, 高橋(方), 高橋(み), 武田, 徳永, 長澤, 中塚, 原, 真覚, 峯岸, 山田, 吉田 (准教授) 桂, 佐藤, 菅原, 高橋(和), 萩原 (事務部) 佐々木, 吉川, 齋藤, 若居		
欠席者	なし	(職階50音順・敬称略)	
議 事 内 容			
<p>1 開 会 開会に先立ち、小野研究科長より、審議事項(5)にあたり、井上教育研究担当理事が出席されることから、審議の順番を入れ替え、審議事項(5)を最初に審議することが報告された。</p> <p>2 議 事 【1】審議事項</p> <p>(1) 議事録の確認(教授会10月5日)及び議事録署名人(本日11月9日)の指名について  <ul style="list-style-type: none"> <li>・教授会(10月5日)の議事録について原案どおり承認された。</li> <li>・本日開催教授会の議事録署名人を塩野 悦子教授とすることについて、承認された。</li> </ul> </p> <p>(2) 学位規程の一部改正について  <ul style="list-style-type: none"> <li>・桑名教務委員長より【資料1】に基づき、事業構想学研究科を中心に検討されている、論文博士の制度化に伴う学位規則の改正案が説明された。本案は既に学務入試委員会での審議を終えているところであるが、教育研究審議会での審議までに、看護学研究科としての確認を依頼されたものである。教務委員会を中心に看護学研究科からの要望として提出していた内容が包括されていることから、原案のとおり承認された。なお、教育研究審議会までに意見等あれば、教務委員長までメールで連絡するよう依頼された。</li> </ul> </p> <p>(3) 研究科入学者選抜試験(2次募集)の資格審査について  <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護学研究科のプロモーションのため、12月3日に「看護師のキャリアデザインフォーラム」が開催されることになったことから、安齋入試委員長より【資料2】に基づき、研究科入学者選抜試験(2次募集)の資格審査の期間を延長したことが説明された。本フォーラムの参加後に資格審査が必要な志願者があった場合のための措置である。本案は原案のとおり承認され、幅広い志願者獲得のため、フォーラムへの参加を呼び掛けるようあわせて依頼された。</li> </ul> </p> <p>(4) 研究科入学者選抜試験に係る諸規程について  <ul style="list-style-type: none"> <li>・安齋入試委員長より【資料3】に基づき、研究科入学者選抜試験実施に係る諸規程について説明された。既に施行されている規程であるが、今年度より新しく教授会構成員となった教員もいるため、今回改めて示されたものである。来年2月には2次募集も実施されることから、規程をよく確認して入試業務にあたるよう依頼された。</li> </ul> </p> <p>(5) 研究科入学者選抜試験(博士後期課程)の出願資格について  <ul style="list-style-type: none"> <li>・井上教育研究担当理事より【資料4】に基づき、博士後期課程の研究科入学者選抜試験の出願資格について、より学際的な研究を進めるために、出願資格に明記されている「看護職としての実務経験(臨地・教育・研究)が原則として5年以上」という条件を緩和してはどうかという提案があり、審議された。議論を重ねたが、本教授会で結論を見出すことができなかつたため、次年度の募集要項の原稿作成が始まる4月までに今後の教授会で審議の上、方向性を出すこととなった。</li> </ul> </p> <p>(6) 看護学研究科教員資格審査内規について 【資料5-①, 5-②, 5-③】  <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月19日開催の教育研究審議会において、宮城大学大学院担当教授教員資格審査に係る審査基準を見直すこととなり(資料5-①)、看護学研究科の教員資格審査内規を定めることとなった。看護学研究科では昨年度2月の教授会において看護学研究科博士前期課程における特別研究及び課題研究担当教員の資格等に関する申合せを定めたところであるが(資料5-③)、これを基に博士後期課程担当教員に関する資格と授業科目担当を追加で定めた小野研究科長案(資料5-②)が示された。本案は原案のとおり承認され、全学の評価委員会へ提出されることとなった。(微細な修正などがあれば、評価委員会が開催前日である11月15日までに研究科長にメールで連絡するよう依頼された。)</li> </ul> </p> <p>【2】報告事項</p> <p>(1) 教務委員会</p> <p>① 文部科学省令の改正方針について  <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在文部科学省が検討を進めている、博士後期課程進学予定者への修士論文提出の免除について【資料6】に基づき、情報提供された。本資料は11月2日開催の学務入試委員会において報告されたものである。まだ検討段階ではあるが、動きがあり次第、教授会に報告されることとなった。</li> </ul> </p>			

## 議 事 内 容

## ②看護学研究科セミナーについて

- ・教務委員会のWGにおいて、来年1月21日(土)に「研究遂行における倫理」と題して看護学研究科セミナーの開催が検討されていることが報告された。講師については、現在教務委員会において引き続き調整中であることがあわせて報告された。

## ③平成23年度後期履修登録状況について

- ・教務委員長より【資料7】に基づき、平成23年度後期履修登録状況が報告された。

## 【3】その他

## (1) 看護学研究科予算の執行状況について

- ・看護学部で配布された報告資料に基づき、遠藤予算委員長より研究科教育費の執行状況が報告された。

## (2) 宮城大学人権侵害防止及び対策本部委員の推薦について

- ・宮城大学人権侵害防止及び対策本部委員として、看護学研究科から徳永 恵子教授を推薦することが報告された。

## (3) 全学広報委員の推薦について

- ・全学広報委員として、看護学研究科から遠藤 芳子教授を推薦することが報告された。

## 【4】次回開催日程

- ・次回定例教授会は、平成23年12月7日(水曜) 13:00から開催することを確認した。(開催場所は大会議室を予定)

議事録署名

---

氏名 小 野 幸 子 印

---

氏名 塩 野 悦 子 印

以 上